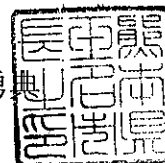


玉市都第 16-1 号  
平成19年4月26日

国土交通省道路局長 様

玉名市長 島津勇



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）  
平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼がありましたこのことについて、別紙のとおりご回答いたします。

玉名市は、平成の合併により平成17年10月3日、1市3町で誕生した市であり、熊本県北西部に位置し、人口72,000人、南北の距離は約17キロメートル、東西は約14,5キロメートル、面積は約152平方キロメートルです。

有明海、菊池川、小岱山及び金峰山系の山々などの豊かな自然や数多くの歴史的資源に恵まれています。産業面では、米をはじめとする野菜、果実等の農産物や海苔などの水産物の生産が盛んであり、市の北部、小岱山の麓には、千三百余年の歴史と泉質の優秀さを誇る玉名温泉、一方、市の南部にある小天温泉は、夏目漱石の名作「草枕」の舞台としても知られています。

熊本都市圏と福岡都市圏の中間に位置し、JR鹿児島本線や九州縦貫自動車道、有明フェリーなどを近隣に有し、交通の便に恵まれた地域でもあり、今後、九州新幹線鹿児島ルート建設に伴う新玉名駅（仮称）の整備など、まちづくりにおける総合的な発展が大いに期待されます。

## 中期的な計画の作成にあたっての意見書

### 記

#### ・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

まず、九州新幹線鹿児島ルート建設に伴う新玉名駅（仮称）の供用開始が平成23年春に予定されています。

この駅は、水田地帯の中に計画されており、基幹である国道208号玉名バイパス整備を軸に新駅から中心市街地や観光地等までの県道、市道、都市計画街路事業など、現在計画中の路線や施工中のアクセス道路の整備は新駅開業まで待ったなしの状況です。この道路の整備なくして新幹線がもたらすあらゆる効果は期待できません。一方、平成17年10月に旧玉名市、岱明町、横島町、及び天水町が合併した新市は、中心地だけの道路整備だけでなく、合併して周辺となった地域から生活者の利便性を含め主要公共機関が集中する中心市街地までのアクセス道路が整備されてこそ合併市としての形容が整うものであり、市政として極めて優先度の高い政策目標であります。

#### ・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

合併前から各市町の道路計画に基づいた整備を進めてきていますが、財政的な厳しさもあり、すべて同時進行は難しい面もあります。

このようなことから現在、国道、県道、市道等も含め基幹となっている改良済路線を利用し、今後改良が必要な残された部分のなかで、より高い優先順位を設け整備を行う必要性があります。また、完成まで長期におよぶ路線は、計画交通量の見直し検討など、現状にあった無駄のない柔軟なタイプへの道路計画変更が、簡易な方法でできることが重要と思われれます。

#### ・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

シルクロードに代表されるように道は人が生活するうえで必要なものであり、今後も時代に沿ったかたちでの整備が必要と思われれますが、人口が集中し財政的にも豊かな大都市圏だけでなく、周辺部分の市町の道路計画等にも地域間格差が極端にでない環境面に配慮した道路政策を考慮してほしいものです。また、戦後の高度成長に併せ整備した道路のコンクリート橋梁は改修が必要な時期に近づいています。当然財政的にも厳しさが増していて、今後は改修するだけでなく、既設橋梁を安全で長く使用できるように長寿命化の調査管理の政策も出てきていますが、これにもっと重点をおいた対策をお願い申し上げます。